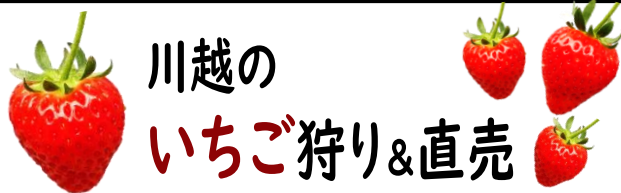


わくわくグリーンツーリズム通信

vol.31
2025.01.17

伊佐沼近くの「川越市グリーンツーリズム拠点施設」より、五感が喜ぶ“わくわく情報”を発信します



いちごが美味しい季節になりました！川越市内にはいちご観光農園が5園あります。農家さんが心をこめて丁寧に育てた真っ赤な実を、いちご狩りや直売で味わってみませんか？

※営業に関してはそれぞれの二次元バーコードでホームページやSNSをご確認ください。



①ぶどうと苺の沼田園
川越市大字的場135-2
TEL:080-9346-5801



②小江戸BERRY
川越市上松原211
TEL:080-4377-1115



③ @FARM
川越市大字今福1043-3
TEL:049-248-8130



④川越いちご園すじの
川越市松郷城下町680-1
TEL:090-4619-0039



⑤いちごハウスきみしま
川越市鴨田927-1
TEL:080-6379-0023



農園紹介



川越いちご園すじのでは、9品種(下記)のいちごを作っています。「それぞれの品種にファンがあり、楽しみにしてくださるお客様になるべく応えられるようにしています」と代表の筋野さんは話します。品種ごとの味の違いを食べ比べられるのが魅力ですが、それぞれに育ち方や実り方が異なるため、一律同じように作れない難しさがあります。

川越いちご園すじの生産品種

- ①よつぼし ②おいCベリー
- ③紅ほっぺ ④やよいひめ
- ⑤ベリーポップはるひ
- ⑥ベリーポップすず

埼玉県オリジナルいちご品種

- ⑦かおりん
- ⑧あまりん※
- ⑨べにたま※
- ※⑧⑨は直売のみ



⑦～⑨の詳細はこちら↑
(埼玉県ホームページ)
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a/0904/yasai/index.html>

川越観光のついでに徒歩でも立ち寄れる場所にある「川越いちご園すじの」は、安心・安全・サステナブルを心がけたいちご作りに取り組んでいます。

虫たちの活躍

甘い香りが漂うハウスではマルハナバチが受粉の重要な役割を担っています。いちごの花が咲き続ける約6か月間、ハチの世話は欠かせません。ハチたちが働き続けるためには、餌の管理がポイント。満腹になると働かなくなるので、餌を少なくして空腹にしておきます。しかし、餌が少なすぎたり、花が減ったりすると、なんとハチは幼虫を巣箱の外に捨て始めるのです！そんな時は餌を増やします。また、花の中心が茶色くなりすぎたら、ハチが働きすぎているサイン。ハチ小屋を閉めて、餌だけを与えるようにします。「ハチが花粉を足にいっぱい付けて巣に帰る姿を見ると、すごく頑張っ

てるなあ、と思います(笑)」と筋野さん。

マルハナバチの他に頑張っている虫は「天敵ダニ」です。葉の裏から養分を吸い取ってしまう害虫「ハダニ」を、天敵ダニが捕まえて食べてくれます。天敵ダニの働きにより、農薬を減らすことができます。



クロマルハナバチ
(農林水産省ホームページより)

ハチは巣箱や花の位置を記憶する能力をもっています。

SDGsへの取り組み

筋野さんはコロナ禍をきっかけにSDGsを意識するようになったと言います。例えば、CO2排出を抑えるためにハウスの暖房使用を控え、二重カーテンで保温性を高めています。また、出荷時の段ボール箱をコンテナに変え、出荷先



川越いちご園すじのスタッフ
代表は筋野弘樹さん(一番後)

に協力してもらって回収することで、使い捨てを防いでいます。いちごは果皮が弱く熱に弱いので、収穫や販売のタイミングを逃すと廃棄が増えてしまいます。筋野さんは廃棄前のいちごを加工用にしたり、「フードロスにご協力ください」とポップを出して割引販売するなど、手間はかかりますが、未来に向けてできることに取り組んでいます。いちごの花が一つ咲いてから実を収穫するまでには、1か月以上の丁寧な管理が必要です。「いちご狩りでは、果肉を残さずにまるごと栄養をとってほしい」と筋野さんは話します。ヘタに勢いがあり、色艶がよく、ヘタの部分まで真っ赤に色づいたものを見分けるのが、美味しいいちごを選ぶコツです。



12月9日(月) 13℃ 晴れ

土日仕事だったので午後休みをもらい畑へ。じゃがいもが収穫時だったので娘たちに任せた。大小さまざま30個ほど収穫。いちごがとってもいい感じ。食べ頃だと判断。娘二人とさんぶんずっこして食べてみたら、すっぱい！めっちゃすっぱい！笑！昔のいちごって感じだった。カリフラワーはこぶし大に成長。あのボロボロ芽キャベツも実り始めた！あんなに葉っぱが喰われまくっていたのに…すごい。収穫はまだ先かな？ブロッコリーを2株収穫し、サラダにした。



じゃがいもは葉が枯れて黄色くなったら収穫



いい感じのいちご

12月14日(土) 8℃ くもり

寒い…寒すぎて畑に行くエネルギーがわかない…おうち時間中に、先日ゲットしたさつまいもの食べ比べ。紅あずまと紅はるかシルクスイート。スティックにして揚げたら、シルクスイートが圧倒的に甘かった！

紅あずまと紅はるかは甘さが物足りず、大学芋に。

川越市環境プラザつばさ館で無料配布している土壌改良材「肥え土」の抽選に申し込んでみた。当選するかな？



←「肥え土」について
こちらを参照ください

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kurashi/gomi/1002421/1002449.html>

12月22日(日) 4℃ 晴れ

寒い…先週より寒い…でも、畑に行かなくちゃ…と意を決して畑へ。ブロッコリーラッシュに突入したので、今日も2株収穫。9日に収穫したブロッコリーの茎部分を抜かず放置していたら、脇芽が出ていた。ちょっと育ててから収穫しよう。11月に植えたスナップエンドウとソラマメが…マルチも敷かず、稲わらも敷かず、スパルタで育てた結果、枯れてしまった(ように見える)。めんどくさがってしまった結果だ。ごめんソラマメたち。

の2週間前に収穫したブロッコリー
の脇から芽が出てきた

12月28日(土) 3℃ 晴れ

どんどん寒くなっていく…けれど、明日から実家に帰るから、その前に今年の畑納め。先週見たブロッコリーの脇芽が大きくなってた。娘たちが「じいじのウチにブロッコリーとか持っていきたい」と言うので収穫。「芽キャベツも」とのこと、まだ小さいかなと思ったが、娘たちに10個ほどもぎもぎしてもらった。では、よいお年を！



寒空の下、花たちは元気



葉はボロボロでもしっかり実っている芽キャベツ



「新鮮で味が濃い！カリフラワーは歯ごたえもあっておいしい！野菜本来のおいしさを味わえた！」と実家の両親が喜んでた

1月5日(日) 3℃ 晴れ

あけましておめでとうございます！グリーンツーリズム拠点施設で風の絵付けワークショップに参加した後、畑始め。



いちごががんばって大きくなろうとしていた

イベント案内 1月～2月

※農作物の生育状況や、その他の事情により中止する場合があります

- ♡ 1/18(土) 川越未来の種セミナー①
- ♡ 1/19(日) BBQ検定(初級インストラクター)
- ♡ 1/26(日) あおぞらフェスタ
- ♡ 2/1(土) 韓国風海苔巻きキンパづくり
- ♡ 2/8(土) いちごのデザート作り

- ★ 2/15(土) 和菓子作り体験
- ♡ 2/15(土) 川越未来の種セミナー②
- ★ 2/16(日) 親子でクッキング
- ★ 収穫体験(長ネギ・大根 他)
- ♡ ~1/31(金) 風の絵付け体験
- ♡ ~3/2(日) 野菜の収穫体験と焚き火体験

毎日



← ★ の体験の詳細と申込み

蔵inガルテン川越グリーンツーリズム推進協議会ホームページ

<https://kawagoe-gt.com/>

← ♡ の体験の詳細(申込みは電話または窓口)

川越市グリーンツーリズム拠点施設ホームページ

<https://kawagoe-gt.jp/>

川越市グリーンツーリズム拠点施設は、「農のある生活」を楽しむ場、農業関係者の研修等の場、グリーンツーリズムの拠点としてさまざまな取組をおこなっています。会議室・多目的ホール・調理室等があり、どなたでもご利用いただけます。

川越市HP(グリーンツーリズム拠点施設について)

川越市主催のイベント案内もこちら→

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kurashi/nogvo/1003205/index.html>

←「わくわくグリーンツーリズム通信」のご感想や情報、農業者・関係者へのエールをお願いします



←バックナンバーはこちら

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kurashi/nogvo/GT.html>

発行：川越市グリーンツーリズム拠点施設
住所：川越市大字伊佐沼 887 (祝日以外の月曜休館)
電話：049-226-6551 (休館日を除く9:00～21:00)